

簡易型尿塩分モニタリング装置

～尿塩分計測から健康管理～

豊橋技術科学大学 工学研究科 教授 澤田和明、准教授 服部敏明、科学技術交流財団 主幹研究員 奥村弘一
株式会社ユニテック

▶〈関連ページ〉7、8、25、27、28、29ページ

狙い 尿塩分計測センサ実装便器システムと連携して継続的に取得される尿塩分計測データを活用し、減塩による生活習慣病予防を目的とした日常健康管理を実現する。さらに、継続的な取得データを医療機関等の外部機関と共有することにより、超早期に異常の兆しを察知し、未病段階での改善を実現する。

また、高血圧症患者の減塩指導を通じた治療のために尿中ナトリウムカリウム比等の尿塩分状態把握を家庭と職場で計測できる補助計測ツールとしても期待できる。

用途

- ・尿塩分計測による高血圧症等の生活習慣病予防を目的とした日常健康管理に適した携帯可能な尿塩分モニタリング装置。
- ・尿中のナトリウム、カリウム同時計測による精密な尿塩分の状態を把握することによる高血圧症や肥満を対象とした的確な減塩状態把握用のツール。

特長

- 尿塩分をイオン選択膜型小型塩分センサにより尿中ナトリウムと尿中カリウムを簡便に計測可能。
- 簡易型尿塩分モニタリング装置は、小型塩分センサを実装した携帯可能な塩分計測装置であり、日常生活のほとんどの場においてユーザーの継続的なデータ採取を実現。
- 取得データは、データ通信によりデータサーバーに自動的に蓄積し、個人及び外部機関とデータ共有化を実現。

仕様

外 寸／W:30×H:18×D:170mm

重 量／約200g

その他／操作パネル(8インチ型タブレットPC)、電源：ボタン電池2個、データ送信用WiFi環境必要



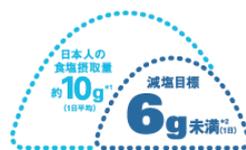
簡易型尿塩分モニタリング装置本体



データ確認用
スマホ端末

操作パネル

簡易型尿塩分モニタリング装置は、モニタリング装置本体、操作パネル、スマホ端末、通信ユニットから構成され、外部データサーバに測定データを蓄積する。データは、スマホ端末での確認が可能である。



高血圧患者の減塩目標：1日6g未滿

*1：平成24年国民健康・栄養調査結果の概要 健康局がん対策・健康増進課

*2：日本高血圧学会：高血圧治療ガイドライン2014

マーク：塩を減らそうプロジェクト (<http://www.shio-herasou.com/kouza/index.xhtml>) から引用

■お問い合わせ／株式会社ユニテック 技術部 酒井義行

e-mail：ysakai@unitec-ccs.co.jp 電話番号：045-530-6100 FAX：045-473-5200

■特許の有無：有